

ユキヒョウ

動物を身近に感じられるとともに、自然を守る大切さを学ぶことができる円山動物園。ここでは、そんな動物園で暮らす仲間たちを紹介します。



ユキヒョウ

分類	食肉目ネコ科
体長	1m~1.5m
体重	25kg~75kg
生息地	中央アジアの高山地帯など
食性	ヒツジ、ヤギ、鳥類など

**過酷な環境で
生き抜くハンター**
真冬は最低気温がマイナス40度にも達する険しい山岳地帯に生息。白っぽい体毛に黒いまだら模様があるのが特徴で、岩肌の背景に溶け込み見つけにくい。そのため、獲物が近づくと待ち伏せして狩りをします。単独で縄張りを持ち、夜になると活発に行動することが多い動物です。

広い展示場は岩場を再現した造りになっており、ユキヒョウを見つけにくいかもしれませんが、高い所で周囲を見渡していることが多いですよ。冬は時々、雪の上を転がるしぐさなど活動的な姿も見られるので、ぜひお越しください。

ユキヒョウの飼育を担当する **工藤** 職員

ココが面白い!

軽やかなジャンプ

約1mもある長くて太い尾でバランスを取りながら、急斜面を素早く移動。高さが7mある展示場の中の岩場をあっという間に駆け上がる様子も注目です。



コラム 動物と環境問題まめ知識

野生のユキヒョウは、毛皮を目的とした密猟や家畜を襲う害獣として駆除され、年々減少。絶滅の恐れがある動物を育てて増やし、種を守ることも動物園の役割の1つです。血統の偏りを避けるために、国内外の動物園が連携して、動物を預けたり、受け入れたりしながら繁殖を進めています。

ココが面白い!

寒さに負けない厚い体毛

1cm四方に約3万6千本もの毛が密集して生えており、冬には長さ12cmに達することも。足裏の毛も長く、防寒や氷の上での滑り止めとして役立っています。



開園時間	冬季(11月~2月)9時30分~16時、夏季(3月~10月)9時30分~16時30分
休園日	第2・第4水曜(祝日の場合は翌日)、4月・11月の第2水曜を含む週の月曜~金曜、12/29日~31日
所在地	中央区宮ヶ丘3
入園料	600円。中学生以下、市内在住の65歳以上、身体障害者手帳などを持つ方は無料(証明書必要)。年間パスポートは1,000円
交通機関	地下鉄東西線円山公園駅から徒歩約15分 バス円山バスターミナルからジェイ・アール北海道バス[円15]動物園線、動物園前下車
駐車場	959台。駐車料普通車700円
詳細	円山動物園 ☎621-1426